

第 22 期 事 業 報 告

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

1 株式会社の現況に関する事項

1-1 事業の経過及び成果

平成28年度までの4年間の京都市との京都市勧業館指定管理者協定期間の2年目となる今期は、平成24年7月に指定管理者の公募選定で提案した経営計画、事業計画を着実に実施し、次期選定への土台づくりの年とするべく、新しい事業にも積極的に取り組んできました。また、法人に対する電気料金の度重なる値上げにより、施設運営は大変厳しいものとなっておりますが、当社はこれまでの経験を活かし、さらに施設の魅力を最大限に引き出せるよう管理運営に取り組んできました。

このような状況のなか、当社の26年度会社全体の売上高は、昨年度を上回る結果を残すことができました。勧業館の稼働率が昨年度を上回ったことや夏場に実施した自主企画事業のチケット売上が事業収入として計上したこと等により、昨年度に比べて 21,497 千円増の 840,483 千円となりました。

当社の主要事業である勧業館事業については、「多目的に利用できる施設だと知ってもらおう」取組の成果が現れはじめ、展示会、見本市はもちろんのこと、国際規模の学会、大学入学試験、入学式及び卒業式、企業の周年事業、アニメフェアなど多様な目的でのご利用がありました。また、催事運営面において、利用者からの要望に応えられる施設としてサポート体制の充実を図る取組についても、ご利用後のアンケートで概ね良い評価をいただきました。

今期は、諸団体の全国大会の会場としてご利用いただく機会に恵まれたこともあり、稼働率は昨年度実績 49.13%を 2%余り上回り、平成8年の開館当初の3年間以来16年振りとなる 50%台の稼働率、51.19%を確保することができました。駐車場等を含む施設利用料収入は、昨年度に比べ 9,835 千円増となる 564,563 千円となりました。

京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ事業についても、下半期は苦戦いたしましたが、上半期の売上が好調だったことから、商品売上は昨年度を 4%余り上回る 48,377 千円となりました。

自主企画事業については、初めての試みとして、閑散期にあたる7月下旬から8月上旬にかけて11日間という長期日程で「わくわく電車王国inみやこめっせ」を開催いたしました。たくさんの内容を盛り込んだ有料のイベントで、大勢の市民の方、特に年少の子供を連れてご家族にお越しいただき、成功裏に終えることができました。その他、昨年度に続き実施した「サマーフェスタ」、秋の恒例事業となった「かがやきめっせ」、さらに伝統産業の日の協賛事業「京ものフェスティバル」等の事業を確実に実施し、地元岡崎地域の賑わいの創出のみならず市民生活への貢献もできたと考えます。

京都館事業については、下半期後半の売上が伸び、商品売上高は昨年度を若干上回る143,803千円を確保することができました。10月には京都市の委嘱により小山薫堂氏が京都館の館長に就任され、京都館をメディアで広くご紹介いただいていることもその一因と考えます。

費用面では、引き続き経費の削減に取り組む一方、指定管理者として年間100万人を越す来館者の安全確保はもとより、勸業館をご利用いただく方々の満足度を向上させるため、施設の修繕、備品の充実に取り組み、今期は大型プロジェクターと中継用カメラを新調いたしました。また、京都市の負担で全館の監視カメラ設備の更新及び展示支援情報システムの更新を行っていただきましたので、当社負担としてはその他大掛かりな修繕は実施いたしませんでしたが、事業費について、昨年度より11,442千円増となる25,365千円を執行したため、販売費及び一般管理費も昨年度より増加いたしました。

以上のことから、今期は、売上総利益、営業利益及び経常利益ともに増加するという結果となり、今期の税引前当期純利益については、昨年度を5,808千円上回る38,467千円となりました。

1-2 直前三事業年度の財産及び損益の状況

区 分	第19期	第20期	第21期	第22期 (当事業年度)
売上高	821,692千円	800,542千円	818,986千円	840,483千円
当期純利益	18,819千円	23,964千円	21,460千円	25,463千円
一株当たり当期純利益	10,455円51銭	13,313円74銭	11,922円37銭	14,146円58銭
純資産	375,701千円	399,666千円	421,126千円	446,590千円

1-3 当該事業年度における主要な事業内容

当社が現在行っている事業の主なものは、次のとおりです。

(1)勸業館事業

展示場及びその付随施設、会議室、ギャラリーの貸出、展示会の企画運営サービス、
駐車場管理

(2)京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ事業(「京紫苑」の運営)

伝統工芸品の販売

(3)自主企画事業

岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり連携事業、岡崎ときあかり(以上岡崎魅力づく
り推進協議会事業)、わくわく電車王国inみやこめっせ、みやこめっせサマーフェスタ、
伝統産業の日 in みやこめっせ協賛事業・京ものフェスティバル等の実施

(4)京都館事業

京都市受託事業の実施(京都館の運営、イベントの実施、京都情報の発信等)、京都
産品の販売

1-4 当該事業年度の末日における主要な営業所及び使用人の状況

(1)主要な営業所

本店 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

東京支店 東京都中央区八重洲二丁目1番1号 ヤンマー東京ビル1F

(2)使用人の状況

従業員数（うち、臨時社員数）	前事業年度末比増減
38人（17人）	なし

(注)従業員数には、臨時社員を含んでいます。

2 株式に関する事項

2-1 株式数

(1)発行可能株式総数	4,000 株
(2)発行済株式の総数	1,800 株
(3)当事業年度末の株主数	9 名

2-2 株主及びその持株数

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
京都市	1,080	60.0
京都府	100	5.6
京都商工会議所	100	5.6
公益財団法人京都伝統産業交流センター	100	5.6
公益社団法人日本図案家協会	100	5.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	90	5.0
株式会社京都銀行	90	5.0
京都信用金庫	80	4.4
京都中央信用金庫	60	3.3
合計	1,800	100.0